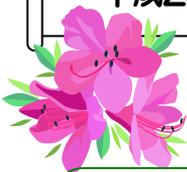


# ～平成25年度 障害福祉制度～ 新規・拡充事業について



ツツジの花と新緑が目に見鮮やかな 4 月 18 日 (木) に第 178 回障害者地域生活支援研究会が開催されました。今回は毎年 4 月の恒例となりつつある「～平成 25 年度 障害福祉制度～ 新規・拡充事業について」です。

## 重点的に取り組む障害福祉施策

1. 総合療育センター再整備事業
2. 障害者商品開発・販路拡大等支援事業
3. 障害福祉サービス事業者等の従業者定着支援事業
4. 障害者就労支援事業
5. 障害者スポーツ・芸術活動事業
6. 障害者相談支援事業
7. 市立障害福祉施設民間譲渡事業
8. いのちとこころの支援事業



まず、北九州市保健福祉局 障害福祉部 障害福祉課長 山田 裕司さんから『平成 25 年度当初予算 (障害福祉関係分)』のうち、重点的に取り組む障害福祉施策についての概要を説明して頂きました。「厳しい市の税収状況にもかかわらず今年度の市障害福祉予算については“増額予算”となっている」とこと、新たな“チャレンジ枠予算”として、【2. 障害者商品開発・販路拡大等支援事業】 【3. 障害福祉サービス事業者等の従業者定着支援事業】等、支援者の人材育成等の“きっかけ作り”になればとのことでした。

引き続き、北九州市保健福祉局 障害福祉部 障害福祉施設再整備担当課長 柴田 憲志さんに【1. 総合療育センター再整備事業】 【7. 市立障害福祉施設民間譲渡事業】の詳細について説明して頂きました。総合療育センターの再整備については現在【①施設の老朽化】 【②利用者の増加】 【③利用者ニーズの多様化】等、様々な課題を抱えており、課題解決に向けての再整備に本年度から本格的に取り組むとのことでした。また、障害福祉施設の民間譲渡については、現行では、社会福祉法人のみを予定しているものの、今後は他の民間法人にも広げていきたいとのことでした。なお、総合療育センター再整備の大きな柱としては【①機能の充実】 【②施設の再整備】 【③総合療育センター西部分所 (仮称) の新設】 だそうです。

また、【8. いのちとこころの支援事業】に関しては、当日参加されていた北九州市立精神保健福祉センター所長 三井 敏子さんから概要を説明して頂きました。この事業は自殺対策の強化を目的に専門相談支援チームによる“こころの健康教育・人材育成事業”をはじめとするもので、支援対象は全市民とのことでした。精神保健福祉センターホームページにはストレスや落ち込み度をチェック等ができる『こころの体温計』というシステムがあり、スマートフォンからも気軽にチェックできるそうです。是非お試しください！

詳しくは⇒ <https://fishbowlindex.jp/kitakyushu/demo/index.pl>

次に当日参加されていた北九州市保健福祉局 障害福祉部 発達障害担当課長 坂元 光男さんにマイクを渡し、昨年度発達障害担当ラインができたこの一年の振り返りと今年度の動きについてお話を頂きました。発達障害担当ラインは“縦割り行政”の中では珍しく、課を超えて“横断的な取り組み”が可能となっており、今年度は「子ども家庭局、教育委員会、障害福祉課」で『個別支援計画の様式の統一化』を図り、幼児期から学童期への“支援を途絶えさせないながれ”を作っていく予定とのこと。また、将来的には『高校、大学、就労へと繋がる“一貫した支援のながれ”の構築』に向けて取り組んでいきたいとのことでした。

北九州市の予算の中で障害福祉予算は急激に伸びているが、国の財政は厳しく『社会保障と税の一体改革』の議論の中に障害福祉予算が入っていないことに大きな危機感を感じているとのこと。そのため、今後の障害福祉事業の取り組みについては、行政だけではなく、支援研究会に参加している皆さんの意見や知恵等を借りながら、検討していきたいとのことでお話で締めくくられました。

本日の参加者は 8 6 名。その内 3 1 名の新規の方にご参加頂きました。ありがとうございました。



平成 25 年度予算のキャッチフレーズは  
**「新たな成長へチャレンジし、市民生活の安全・安心を守る予算」**  
 と言うんだって。  
 予算案は北九州市のホームページで詳しく見られるので、アクセスしてみてね♪ <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/000133433.pdf>

※こちらの議事録は  
 北九州市障害者自立支援協議会の  
 ホームページでもご覧いただけます。  
<http://kitakyushu-net.shien-c.com/>

